

民商共済会の大腸がん検診を受けましょう

病院に行かず、スティックで便をとり検体容器を返送するだけ! 簡単!便利!と大好評です

共済会活動

☆大腸ガン検診の流れ☆

- ①受診希望者は、住所・氏名を記入して返信して下さい。容器・申込書・返信用封筒をお届けします
- ②共済加入者は100円、未加入者は1,000円を集めます(容器・検査代です)
- ③便をとり、専用封筒に容器を入れて、ポストに投函して下さい(切手はいりません)
- ④検査結果は、後日直接本人に送付されます

※詳しくは中部民商へ連絡を
(電話281-2808)

今、私たちのまわりでは大腸ガンが大変な勢いで増えています。民商共済会の入院見舞金原因分析でも、大腸ガンによる入院が第3位です。

大腸ガンは他のガンと比べて進行が遅いので、早期に見つけて治療すればほとんどが治ります。毎年の大腸ガン検診が大事です。

今回、民商共済会では、全会員を対象にした大腸ガン検診に取り組みます。現在、125人が受診の申し込みを行っております。

まだ受付していますので、この機会にぜひ大腸ガン検診を受けましょう。



全道業者青年交流会 実態調査アンケート 等に取り組みます

青年部活動

青年部では、5月に北見で開催される「全道業者青年交流会」に多くの青年部員と参加しようとして、取り組んでいます。

前回は帯広で開催され、フィールドワーク形式で地元の中小業者や工場などを見学して、学びあいました。



合わせて「全国業者青年実態調査アンケート」にも取り組みます。

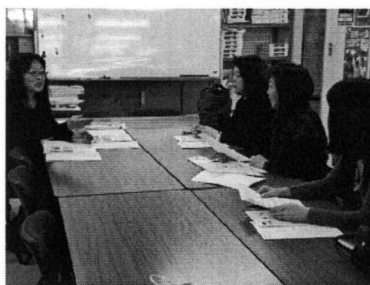
前回(2007年)の調査から4年が経ちました。この間、原油原材料が適正な価格で取引されず、経営に影響が出ています。さらに金融危機、円高・デフレなど、業者青年を取り巻く経済情勢はめまぐるしく変化しています。

今回の実態調査を取り組みながら、①業者青年の現在の営業と暮らしの状況をつかみ、②つかんだ要求を青年部活動に生かすと共に、業者青年との対話を広げながら仲間づくりにつなげる、③地域の業界団体や自治体との懇談に生かしていきます。

多くの青年部員・業者青年の皆さんのご協力をお願いします。

「触って楽しい」「使い方が分かった」 パソコン教室で盛り上がる

婦人部活動



▲パソコン教室では、お互いに質問が飛び交います

は午前中に役員会を開き、お昼はススキノ支部の成田副部長の手料理をみんなで美味しく頂きました。

午後からのパソコン教室では4人が参加して、文字の入力に慣れようと例題を使いながらキーボードで入力しました。

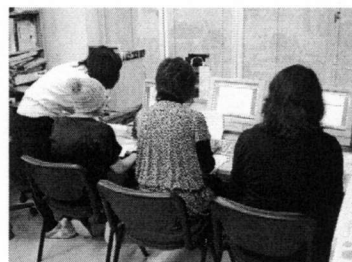
教室では、参加者同士で質問したり、分かった人が他の参加者に教えたりと、和やかな雰囲気が進められています。

参加者からは「楽しく学べて良かった。気軽に参加したい」「パソコンでお店の経理をつけられたら」と張り切っています。

婦人部では、3月からパソコン教室をスタートしています。

「パソコンって興味あるけど、使った事がない」「家にあるけど、触って壊したらどうしよう」等の声に答え、婦人部で開催を決めたものです。

3月29日に2回目の教室を開催。この日



▲真剣にパソコンに向かう教室参加の婦人部の皆さん